

喜界町



議会だより

182号

令和3年1月20日発行



写真-百之台付近 青空に舞う



主
な
内
容

新議会の構成	2
常任委員会委員長報告	4
一般質問に5名が登壇	7
条例・同意案件等報告	13
編集後記	14



発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

初議会 令和2年11月2日

新議会の構成

議長に 榮 哲治 議員、副議長に 安田 英次郎 議員

議会議員選挙が9月27日に執行され、現職8名、新人4名でのスタートとなりました。

初議会は、11月2日に開催され正副議長、各常任委員会委員の構成が行われました。その結果、議長に榮哲治議員、副議長に安田英次郎議員、議会運営委員長に安田英次郎議員、総務文教常任委員長に生駒弘議員、産業福祉常任委員長に野間弘也議員が選任されました。

就任のあいさつ



議長 榮 哲治

去る11月2日に開かれた臨時議会で、議員各位のご推挙により議長の要職に就任いたしました。責任の重大さを痛感しているところでございます。

人口減少対策、少子高齢化対策、子育て支援、地元企業の育成、産業の活性化等を充実させる為には、自主財源の確保が必要不可欠であり、ふるさと納税や農業振興を強力に推し進める対策が必要です。

行政と切磋琢磨しながら議会運営ができたかと考えています。どうぞ町民の皆様には、これまで同様議会に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶と致します。



議会新体制スタート

常任委員会

各所管の事項について、調査及び審査を行います。
 議員はそれぞれ一つの常任委員になるものとされています。(◎印は委員長、○は副委員長)

◆ 総務文教委員会 (定数6名)



榮 哲治
【無所属・上嘉鉄】



○ 河上 弘仁
【無所属・小野津】



◎ 生駒 弘
【公明・城久】



土岐 和貴
【無所属・赤連】



生島 常範
【無所属・上嘉鉄】



榮 優太
【無所属・湾】

◆ 産業福祉委員会 (定数6名)



安田 英次郎
【無所属・坂嶺】



○ 幸 一美
【無所属・湾】



◎ 野間 弘也
【無所属・中里】



米田 信也
【無所属・佐手久】



倉橋 博都
【無所属・志戸桶】



良岡 理一郎
【共産党・西目】

◆ 議会運営委員会

委員長 安田 英次郎 議員

副委員長 生駒 弘 議員

委員 野間 弘也 議員

委員 幸一美 議員

委員 河上 弘仁 議員

◆ 奄美群島広域事務組合議員

榮 哲治 議員

◆ 大島地区消防組合議員

生駒 弘 議員

◆ 奄美大島地区介護保険 一部事務組合議員

野間 弘也 議員

◆ 大島農業共済事務組合議員

幸一美 議員

◆ 監査委員

榮 優太 議員

令和2年12月定例会 総務文教常任委員会報告

議案第56号令和2年度喜界町一般会計補正予算第6号の審査について、当委員会は、委員6名全員出席のもと審査期間を一日間と定め審査にあたっては、担当課長の出席を求め審査を行いました。審査の結果、令和2年度喜界町一般会計補正予算第6号は原案の通り可決しました。各所管課の主なものについて報告致します。

◆ 一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	交通安全対策費	ロードミラーの修繕費のため	1,000千円
	情報無線施設(管理費)	野外アンテナ設置 要望があった各家庭の屋外アンテナ設置	1,200千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(消耗品費)	避難所関係:使いきり不織布スリッパ、 非接触体温計、扇風機等	1,001千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(委託料)	空港検温委託料の期間延長に伴うもの	700千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(備品購入費)	オンライン会議用の備品	1,117千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(備品購入費)	防災関係:空気清浄機、非接触型検温器、 消毒機、可搬式Wi-Fiステーション、 モバイルルーター	5,107千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(システム改修)	電算関係でキャッシュレス決済に向けて の改修費用 (コンビニ等で公共料金の納付を可能にするため)	2,100千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業 (地方創生臨時交付金補助金)	37集落に一律30万円を支給する 助成金	11,100千円
企画観光課	企画費公有財産購入費	旧前川医院跡地を購入するもの	15,432千円
	自然環境保護費	ウミガメ保護の観点から奄美海洋生物 研究会の方に研修会を開催していただく 費用等	239千円

一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
企画観光課	ふるさと寄付金事業 (消耗品費・通信運搬費・ サイト使用料)	ふるさと納税の歳入増額によるため (前年度比400%近い伸び率)	24,321千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(工事請負費)	旧前川医院を活用し、島留学生を 受入れるための学生寮を整備するため	6,300千円
	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(委託料)	ふるさとレストランの委託料 (有名シェフが地域食材を活用し返礼品商品化)	3,138千円
	加工販売施設運営費備品 (購入費)	はかり2台分とトーミを購入するもの	303千円
	公園復旧費	台風被害によるスギラビーチを 復旧するための原材料費	3,300千円
町民税務課	塵芥処理費粗大ごみの処理 (委託料)	石膏ボードを処理する為のもの	6,605千円
	塵芥処理費粗大ごみの処理 (備品購入費)	コンテナハウスを購入するもの	250千円
教育委員会 事務局	新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 事業(備品購入費)	書籍の除菌機4台分	5,060千円
	地方創生臨時交付金事業、 負担金補助及び交付金	新型コロナウイルス感染の影響を 受けているスポーツ団体への支援金	500千円
	GIGAスクール構想事業 (備品費)	学習ツール550台の購入費	3,960千円
	教育課程研究指定校事業	早町小学校が国立教育政策研究所の 教育課程・研究指定校として行っている 事業に係る経費	230千円
	図書館費	トイレの修繕料	228千円
	図書館費(備品購入費)	パソコン4台分の購入費	900千円

令和2年12月定例会 産業福祉常任委員会報告

議案第56号令和2年度喜界町一般会計補正予算第6号等の審査について、当委員会は、委員6名全員出席のもと審査期間を一日間と定め、審査にあたっては、担当課長の出席を求め審査を行いました。採決の結果、異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきと決定しました。

◆ 一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
農業振興課	農業者年金受託事業庁用備品費	台帳等を収納するキャビネット購入のため	179千円
まちづくり課	道路維持費道路補修材料費	集落等から要望のある道路整備を行うため 修繕は、危険箇所を優先に検討する	1,340千円
	住宅管理費修繕料	台風10号で被害があった町営住宅の 雨戸等の修繕費	630千円
保健福祉課	健康増進事業費国庫補助金	新型コロナウイルス検査助成金 地域の感染状況に応じて、65歳以上の 方にPCR検査を行うため	1,120千円
	児童福祉総務費工事請負費	子育て支援センター工事請負費の増額で、 資機材の高騰や段差解消の擁壁設置のため	21,000千円

農業者年金加入者	受給者 61名	加入者 15名
----------	---------	---------

◆ 特別会計補正予算の主なもの

特別会計名	事業名	内容説明	予算額
直営診療施設 勘定	各種診療報酬・一部負担金	旧前川医院の閉院により患者数が増えた ことによるもの (旧前川医院からの患者数、31名)	1,500千円
	一般管理費報償費	新型コロナウイルス感染のリスクがある中、 医療に従事する医師、看護師、事務職員に 国から支払われる慰労金。5万円の4名分。	200千円
介護保険 特別会計	償還金利用者負担分返納金	施設入所者で生活困窮者を生活保護に しないため、施設利用料などを減額する 境界層措置制度があり、制度改正により 食費が390円から300円に減額になっ たための返納金	850千円
農業集落排水 事業特別会計	基金積立金	消費税還付金を基金へ積立てるため	3,060千円
公共下水道事業 特別会計	公共下水道施設整備費 工事請負費	汚泥を堆肥にしているため 改良ヤードの工事請負費	11,000千円
水道事業会計	重要な資産の処分	朝日酒造株式会社へ代替水源として、 喜界高校プール裏の井戸を処分し、譲渡 するため	—

一般質問

町政のここが聞きたい

第4回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

結婚新生活支援事業で 少子化対策を

質 要

結婚新生活支援事業は、結婚に伴う新居への引っ越し費用や家賃を国、自治体で各2分の1補助を行う事業。政府は来年度から現行の30万円から60万円に倍増させる方針を固めている。全国では281市町村が実施。鹿児島本土では5市町村、奄美群島では瀬戸内町が実施している。

質 問

来年度から、少子化対策の一環として結婚新生活支援事業を導入すべきだと考えるが見解を伺う。

答 弁 町長

全国で約280市町村、これは全体の15%にとどまっていると把握している。このような状況を踏まえて、今後の検討・研究課題とし、まずは妊産婦の経済的負担の軽減、ハイリスク妊産婦出産支援、不妊治療費の支援、小中高生入学祝い金、保育所の整備等に重点を置き、長期的な子育て支援を緊急かつ優先的に講じていきたいと考えている。

質 問

結婚は、少子化対策で最初の入り口と考える。毎年結婚される方の届け出は何組程度か伺う。

答 弁 町民税務課長

現状は、次のとおりです

婚姻者数(組)

年度	組
R1 (H31)	21
H30	32
H29	27
H28	35

猛烈な台風にも対応できる 避難所を

質 要

今回の台風10号は特別警報級の猛烈な勢力であった。このような台風に対応できる公民館の整備が必要と考える。

質 問

雨戸や格子戸を付けるなど何らかの対策が必要と考えるが見解を伺う。

答 弁 町長

「災害に強く人に優しいまちづくりの推進のために」の重要案件の一つでもある。この事については必ず必要と考えている。どのような対応ができるか、避難所として実績のある施設を優先的に整備する方向で調整していきたい。雨戸に限らず、外トイレの解消など総合的な防災機能強化を今後も継続的に行っていく。

質 問

避難所での停電対策として、発電機の貸し出しや設置などの対策についての見解を伺う。

答 弁 総務課長

主要な避難所については計画的に、発電機を設置している。発電機に限らず、小型の蓄電機も現在準備を行っている。



質問する
良岡 理一郎 議員

コロナ対策は法令等に沿って 適切に対応

質 問

10月初旬の本町初の感染症確認の発表は抗原検査だけでなく、PC

R検査結果を待つべきではなかったのか。またその後の陽性の方は自宅療養ではなく医療機関や宿泊療養施設で隔離すべきではなかったか。

【答弁】 町長 保健福祉課長

12月議会時点で1名の偽陽性、1名の陽性が確認されている。23名の濃厚接触者はPCR検査の結果すべて陰性であった。発表時期・発表方法や隔離施設については現行ルールに基づく対応であり適切であったと思っている。

今後、感染者が拡大した場合は、町内への宿泊療養施設の設置、島外の運送も考えている。

診療所は患者増加の為、第1火曜日と水曜日も開院

【質問】

台風などの影響を受ける検体輸送の改善、検査精度の正確な結果を得るには、本町でもPCR検査体制を整え、軽症者・無症状者の検査、そして医療関係者、介護施設の皆さんの社会的検査を急ぐべきではないか。

また、民間医院の開院にともなう診療所対応を伺う。

【答弁】 町長 保健福祉課長
PCR検査は医療機関との連携、国の動向を注視しつつ進めたい。町営診療所は、11月から第1火曜日、水曜日を開院している。

公民館の雨戸、トイレ改修 避難者は1000名想定

【質問】

一昨年の台風24号、今年の台風10号の経験から避難想定人員の見直し、食糧・備品の準備状況を伺う。

【答弁】 町長 総務課長

災害時に備え公民館の雨戸設置、屋内トイレを順次、整備していく。

避難者は、1000名を想定。食事は1200食3日分を備える。大地震等屋外退避時には米の炊き出し、マット等の備品も備える。

防災行政無線の受信機は修理を急ぐ

【質問】

9月の台風後、防災行政無線の家庭内の受信機の故障が多い。修

理が遅れている。また、避難所公共施設のWiFi設置を伺う。

【答弁】 町長 総務課長

防災無線修理は部品不足で迷惑をかけており申し訳ない。急いで修理する。WiFiは当面、避難所に可搬式タイプを1台設置し機能を検証したい。

共同墓はアンケート実施。町民合意で方向性を決める

【質問】

前回の定例会で、町民の意向調査（アンケート）について区長会での検討を約束しているが、今後の方針、計画を伺う。

【答弁】 町長

共同墓はアンケートを実施、町民の合意形成を図る。町民の意向を踏まえ町長任期中に方向性を決める。

教職員の残業は微減、教頭横ばい、実態分析する

【質問】

コロナ禍での教職員の残業時間

（超過勤務時間）について伺う。「アクションプラン」の進捗はいかがか。

【答弁】 教育長

目標残業時間である月45時間以内については前年より若干（4%）改善できているが、過労死ラインである月80時間については改善が進んでいない。教頭の平均残業時間は月65時間。今後要因を分析する。「アクションプラン」については8割の教職員が改善を実感できるよ

オンライン教育は年度内に準備中

【質問】

オンライン教育に向けての準備状況を伺う。

【答弁】 教育長

タブレット端末については年度末までに確保できるよう準備している。各家庭におけるネット環境は今後実態把握等に務めたい。

また教員へのトレーニングも求められている。

町民との対話は 具体化を進める

質問

町長が選挙で公約している行政懇談会の実施に向けて準備状況を伺う。

答弁 町長

町民との対話は大切である。新型コロナウイルス対応で遅れているが、できるだけ早く実施したい。



質問する
生島 常範 議員

避難所整備等について

質問

「喜界町ハザードマップ」配布等で防災意識を高めているが、今夏のように想定外の大規模台風襲来も予想される。避難所の確認も含め年1回は訓練を実施できないか。

答弁 町長

避難訓練は数年実施していないので、今年度から計画的に実施する予定だったが、コロナ禍において避難訓練も中止せざるを得ない状況にある。台風と地震を分けた訓練も必要と考えている。

質問

今年9月の台風10号襲来時、ガラスが強風で割れた避難所があった。雨戸、格子の設置等を検討すべきではないか。

答弁 町長

整備が必要な施設から優先的に補助金や基金を活用して進めて行く。老朽化した施設のガラスの強化、内トイレへの整備等早急に優先的に進めていきたい。

質問

台風10号襲来時の指定避難所は殆どが湾近辺であった。早町地区の方々より、島北部にも避難所を兼ねた施設建設の要望がある。検討できないか。

答弁 総務課長

防災計画の中での指定避難所は

旧一中校区に集中しているが、これらは避難所として設置したのではなく、既存施設を避難所として使っている。北部地区への設置については防災上の課題であり、既存施設の改修、旧学校施設、公民館も含め整備する方向で進めていきたい。

集落担当職員制度について

質問

行政と集落区長とのパイプ役となつて、地域の課題解決に協働で取り組み、地域の活性化につなげることを目的に導入し、平成28年時点では、集落活性化推進助成事業や文化伝承、防災訓練など成果を上げているとの報告がある。その後同制度の成果と課題、地域活性化のため2人態勢にするなど拡充ができないか伺う。

答弁 町長

平成25年4月から同制度を実施しているが、集落活性化事業の申請手続きや担当課との調整等役割を果たしている一方、集落によって要望の度合い、件数、内容に偏りがあり、その集落に居住していない

職員が担当せざるを得ない状況がある事等が課題。

答弁 総務課長

役場職員は地域に貢献するのは当然だが、担当職員の業務を拡げる事は職員の負担増になるので難しい。同制度は行政懇談会の回数が減る中、サポートする意味で設置した経緯もある。地域の文化、スポーツをリードするのは、区長を中心に地域で人材を育てるべきではないかと考えている。

質問

共助は当然。地域で区長を中心に共助の仕組みを支援するため公助が必要と考える。先行事例など豊富な知見と事務能力を有する人材の配置は必要ではないか。

答弁 町長

この制度は前町長が疲弊した集落で区長の手助けに導入したもので、地域のスポーツ等活性化のために人材支援は公助が必要。この集落職員制度とは主旨が異なるので、別の問題として認識している。



質問する
米田 信也 議員

空き家バンク制度の活用は

質問 空き家バンク制度の活用はどのような状況か伺う。

答弁 町長

選挙期間中各集落を回り、改めて空き家の多さを痛感した。政策の中で移住、定住促進と受入体制の充実を掲げている。空き家バンクも含め移住、定住促進にしっかりと取り組んでいく考えである。

質問 現在までの登録件数と利用件数について伺う。

答弁 企画観光課長

4件の登録数で、1件は入居中である。

質問

登録数増加への取り組みについて、対策を講じているか伺う。

答弁 企画観光課長

行政サイドからの呼びかけには、反応が薄い状況であった。今後は集落に一番精通している、区長からの呼びかけをお願いし、検討をしていきたい。また、職員が兼務で業務を行っているが、次年度以降は移住相談員といったことも視野に入れながら検討する考えである。

質問

この制度についての助成金はあるのか伺う。

答弁 企画観光課長

本町独自の空き家バンク制度に係る助成金制度はない。今後は、改修費に係る財政投資を制度化する必要がある。

リサイクルによる ゴミ減量の現状は

質問

本町におけるゴミのリサイクルの今後の展開についてと、ポイ捨て、

不法投棄の対策について伺う。

答弁 町民税務課長

ごみの発生を抑えるリデュース、一度買ったものは大切に使い修理したり、詰め替え用を購入し再使用するリユース、再資源化するリサイクル、いわゆる3Rの周知を図り、町民の協力を得ながら適正な分別回収に努めたい。今後は不法投棄やポイ捨てが、頻繁に行われる場所を不法投棄防止重点地区として指定して、ポイ捨て防止のキャンペーンや定期的な見回りの強化、警告看板、監視カメラの設置も検討している。区長会との情報共有、連絡を図りながら不法投棄防止の抑止力となるよう多くの人の目で監視する体制を構築していきたい。



ペットボトル処理作業

町民との対話の必要性、望む声も

質問

町政懇談会や意見交換会などの取り組みについて、町長の考えを伺う。

答弁 町長

様々な問題解決や町民目線に立った町政運営には、町民との対話が必要不可欠と考えている。町民との対話なくして島の未来なし。1日でも早く町民の皆様の声を拝聴し、しっかりと町政へつなげたいと考えている。

職員にもしっかりと町民の声に耳を傾け、町長に進言し、町政運営にしっかりと反映させてほしいと訓示した。町民の目線がどこを向いているか、町民と同じ方向を向き議員と執行部と両輪で進めていきたい。



質問する
野間 弘也 議員

質問

町政運営に興味を持ってもらうためにも、小、中、高校生との意見交換会について見解を伺う。

答弁 町長

子供たちとの関わりも大事と考えている。子供たちの夢や希望に町政が手助けできているか検証しながら、政策づくりに役立てていきたい。

働きやすい役場庁舎環境を
行きやすい、入りやすい、

質問

町民が訪れやすい庁舎環境、空気を作り、町民と職員の距離を縮めるため、また働きやすい環境を作るためにも、庁舎内でBGMを流せないか見解を伺う。

答弁 町長

一定のリラックス効果はあると思うが弊害はないか、庁舎二斉か部分的に流すのか、また音楽設備、放送設備についても調査、検討しながら、先進地の自治体から情報も取り入れ、できる方向で検討を進めていきたい。

ふるさと納税活用で
町民の夢実現へ

質問

ふるさと寄附金は、自主財源を確保するための手段として、また、喜界町の宣伝、農家や業者の収益向上にも大きな影響を与える。そのことから取り組みを強化すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

答弁 町長

ふるさと納税は、自主財源の乏しい本町にとって貴重な財源確保の手段であり、島外に向け宣伝できる制度でもある。国民に取組をアピールし、自治体間の競争の中で選んで頂くため、地域の在り方を改めて考えるきっかけとなる制度であると認識している。見直すべき点は見直し、取組の強化に努めたいと考えている。

質問

担当部署の増員や拡充を図る必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁 企画観光課長

昨年度まで、職員が兼務で1名、臨時職員1名で業務にあたってきた。今年度6月から会計年度任用職員1名の増員を行い対応に当たっている。今年度より機構改革の二環でチーム制を敷いている。課内での協業体制が取れていると考えている。ただし例年12月は繁忙期で、年間納税額の半数以上の納税がある。業務効率を図る観点から、今年度中にRP(業務自動化)を導入し事務の軽減化に努め、次年度以降さらに検討していく。

質問

寄付者、寄付額を増やすには、返礼品の拡充が必要。返礼品拡充の取り組みについて伺う。

答弁 企画観光課長

観光体験など返礼品を送るだけではなく、実際に島に来て頂く取組など、視野を広げながら今後も拡充を行う。

返礼品の推移

年度	種類数
H30	26種類
R1 (H31)	75種類
R2	142種類



返礼品

質問

島の在来作物(小野津大根、ヒ

ル、島らつきよう、大豆、小麦、島みかんなど）を返礼品に取り入れてはどうか。そこで在来作物の普及への取り組みについて伺う。

答弁 農業振興課長

花良治みかんは、特有の香りがあり、がんの抑制効果や血糖の上昇を抑制する成分も含まれており、島内外に大変な人気である。しかし生産量が少ない課題がある。対策として、暴風雨対策に対する支援事業を行い、園地整備にかかる費用や収益のない期間については国の支援事業を活用しており、徐々に新規栽培も増え栽培規模拡大で面積が増えている状況である。

質問

ふるさと寄附金の基金運用について伺う。

答弁 企画観光課長

現在は、小中高生入学祝い金のみの運用である。今後は、妊産婦支援事業拡充等への運用も検討している。また、各課へ基金運用の要望調査等を行い、年次計画を策定し基金が尽きないように検討する。

議会のうごき(1月～3月)

1月14日・15日

…………… 新議員研修会（奄美市）新議員
※新型コロナウイルス拡大防止の為中止

1月15日・16日

…………… 正副議長研修会（鹿児島市）議長・副議長
※新型コロナウイルス拡大防止の為中止

1月26日・27日

…………… 議員研修会及び所管事務調査（鹿児島市）全議員
※新型コロナウイルス拡大防止の為中止

1月26日・27日・28日

…………… 奄美やんばる広域圏交流会（沖縄県名護市）議長
※新型コロナウイルス拡大防止の為中止

2月16日・17日・18日

…………… 定期総会（鹿児島市）議長

ご案内 次の議会は、3月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

（動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。）

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

◆ 条例・同意案件等報告 ◆

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第63号	喜界町手数料の一部を改正する条例について (手数料減免の条文を条例に追加し、規則を廃止するもの)	11	0	可決
議案第64号	報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について (喜界町明るい選挙推進協議会委員の報酬を新たに加えるもの)	11	0	可決
議案第65号	喜界町国民健康保険条例の一部を改正する条例について (地方税法施行令の一部を改正する政令(令和2年政令264号)による 基礎控除額相当分の基準額を43万円に引き上げる)	11	0	可決
議案第66号	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等 に関する条例の制定について (関係条例の改正を行うため制定するもの)	11	0	可決
議案第67号	喜界町災害対策基金条例の制定について (防災減災事業のための財源確保のために基金条例を制定するもの)	11	0	可決
議案第68号	喜界町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について (住民税非課税世帯の未就学児から住民税非課税世帯の18歳まで 拡充すること)	11	0	可決
議案第69号	喜界町漁港管理条例の一部を改正する条例について (水産庁の模範漁港管理規程例が改正されたこと)	11	0	可決
議案第70号	団体営喜界土地改良事業計画書(維持管理)の一部変更について (第2地下ダム建設に伴う、受益面積、集水設備、ファームポンド、送水管 等の変更)	11	0	可決
陳情第2号	安心して学びあえる教育環境のための少人数学級を求める陳情について	11	0	継続
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、 2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	11	0	採択
発議第5号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書(案)について	11	0	可決
発委第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、 2021年度政府予算に係る意見書(案)について	11	0	可決
同意15号	監査委員の選任について (孝志眞人氏を選任)	11	0	同意

「喜界町議会」に期待すること (湾) 原田 彰

「喜界町議会は、町民の直接選挙で選ばれた議員によって構成され、町民の負託にこたえるため、重要な町政運営の方針を決定する役目を担っています。町長と議員は対等な立場にあり、町政が適法・適切に公平・効率的に運営されているかを町民の立場に立って監視し、喜界町の発展のために活動をしています。」と喜界町議会の概要にある。

議会の役割としては、制度上2つの機能が期待されると考えます。
 ①政策形成機能(条例制定等)によって自らが自治体の政策をつくる役割)
 ②行政監視機能(執行機関の活動を監視し、是正・抑制する役割)である。

(下表は総務省資料等をもとに作成)

役割を果たすには議会が有している権限を正確に把握し、これを十分に活用することであると考えます。

議員の議案提出権(定数の12分の1以上の賛成による提出)を活かして、条例案の提出、予算案や自治体計画の修正提案、意見書案の提案等を提出することで、議会の政策形成機能が高まり、議案をまとめる作業を通じて各議員の政策力も高まると思います。

そのような活動こそが喜界町議会が政策立案の一翼を担う集団としての大きな役割を果たすものだと考えます。喜界町民から直接選挙で選ばれた議員により構成される喜界町議会と、同じく町民から直接選挙で選ばれた喜界町長であります。議会は多人数による合議制の機関として、また町長は独任制の機関として、それぞれの異なる特性を活かして町民の意思を町政的に

区 分		首長・執行機関	議 会
自治体計画	提案	◎	×
	決定	○	△条例ある場合
予 算	提案	◎	×
	決定	×	◎修正も可能
条 例	提案	○	○
	決定	×	◎
要綱・要領	提案	◎	×
	決定	◎	×

(注)◎=専有 ○=併有 △=場合により権限あり×=無

確に反映させるために競い合い、協力し合いながら喜界町としての意思決定を導く共通の使命が課せられていると思います。

2元代表制の下では首長と競い合い、協力し合う議会の力量を拡大するべきであり、そのためには議員報酬や期末手当、政務活動費等、必要な予算を確保していくべきだと考えます。

議会の活性化を図り、議会についての住民の理解を促進し、住民に身近な議会を構築することが、必要な予算確保の大前提であることも確認しておきたいものです。

早急に「議会基本条例」等を制定し、新たな議長を中心に、新たな12名の議員の皆さんが、更なる高みを目指し、喜界町議会の存在価値を高めていただきたいと切望いたします。

令和6年10月31日の任期満了のその日まで喜界町民(有権者)であり支援者)のために更なる飛躍を期待します。

ご依頼がありましたので、私なりの考え、思いを綴らせていただきました。

令和二年 師走

追 伸

喜界高等学校特別支援教室の設置に携わっていただき、令和2年をもつてご勇退されました4名の方々や、当時の町議会、県議会の皆様、本当にありがとうございました。今春、2人の生徒が卒業を迎えます。そして、私は今、喜界徳之島高等学校特別支援教室の課題に取り組み活動を続けています。

区 分	給 料 月 額 等	
	(参考)類似団体における最高/最低額	
給 料	町 長 684,900円 (減額前761,000円)	860,000円 / 500,000円
	副町長 540,000円 (減額前600,000円)	678,000円 / 471,000円
報 酬	議 長 304,000円	400,000円 / 222,000円
	副議長 251,000円	314,000円 / 178,000円
	議 員 228,000円	290,000円 / 148,000円
期 末 手 当	町 長 副町長	(30年度支給割合) 3.35 月分
	議 長 副議長 議 員	(30年度支給割合) 3.35 月分
退 職 手 当	町 長 副町長	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期) 761,000円×在職年数×5 1,522万円 任期毎 600,000円×在職年数×2.8 672万円 任期毎
	備 考	

編集後記

明けましておめでとございませう。新型コロナウイルス感染症禍の厳しい年明けとなりました。

町議会も行政と車の両輪のごとく町民の健康と命、暮らしと営業を守るため頑張ります。

昨年の選挙で新人4名が当選され、この広報委員会のメンバーとなりました。区長経験者、文化に造詣が深い皆さんです。これらの経験を議会だよりの編集にも生かしていきたいと思えます。

最初の令和2年12月議会は議会傍聴者も増え、後口のユーチューブ視聴者を含めると300名を超えています。議会活性化の表れとも思われます。

また今後、読者の皆さんにハガキアンケートをお願いして議会だよりの内容向上に努めてまいります。

新しい年が新型コロナウイルスを収束させ希望に満ちた日常を取り戻せるよう心から祈念申し上げます。

喜界町議会広報委員会

- 委員長 良岡 理一郎
- 副委員長 倉橋 博都
- 委員 野間 弘也
- 委員 生島 常範
- 委員 米田 信也
- 委員 土岐 和貴